

火山防災対策推進検討会議（第1回） 議事概要について

1. 開催概要

日 時：平成27年9月4日(金) 13:30~15:30

場 所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：藤井座長、石原、清水、三浦、森田、加藤、森本、横田、田中、西山、村上、
関田、春日、浦塚、棚田、桑原、藤沢各委員 他

2. 議事概要

<各機関の火山防災に係る取組>

各機関から火山防災に係る取組について紹介。

<「御嶽山噴火を踏まえた今後の火山防災対策の推進（報告）」の取組状況>

事務局（内閣府）から「御嶽山噴火を踏まえた今後の火山防災対策の推進（報告）」の取組状況について報告。委員からの主な意見等は以下のとおり。

○大学や研究機関が緊急に行う、国立公園における火山の臨時観測点の設置等についても、迅速な対応を実施すべきである。また、国立公園だけでなく、国有林についても同様の対応を実施すべきである。

<火山観測における関係機関の連携強化>

気象庁から火山観測データの共有化について説明。委員からの主な意見等は以下のとおり。

○火山噴火予知連絡会のメンバーだけでなく、火山防災協議会に参画する火山専門家が観測データを見られる環境にすべきである。また、地元気象台の火山担当職員に対しても同様である。

○生データをリアルタイムで共有するのか、気象庁が処理・解析したデータを共有するのか、またデータの見方等、共有する対象に応じた共有方法を検討すべきである。

○火山観測データが流通することで、地方自治体の職員も含め、そのデータを正しく見るという習慣がつけば、それは火山防災に役立つことになる。

<火山研究者の火山防災協議会への参画推進>

事務局（内閣府）から火山研究者の火山防災協議会への参画状況について説明。委員からの主な意見等は以下のとおり。

○火山防災協議会に参画する気象庁職員も、火山専門家に準ずる形でしっかり活動する必要がある。

○地球物理学、地球化学、地質学、砂防学など、様々な分野を専門とする火山研究者が参画することが望ましい。